

17.10/16

畑からのご挨拶

本日の野菜&果物

白菜抜き菜	鎌倉	大平さん	大根	北海道	伊藤さん
長葱	鎌倉	大平さん	南瓜 1/4	北海道	伊藤さん
ブナシメジ	新潟	片山さん	巨峰(種あり)	長野	小坂さん

本日の野菜・果物は栽培中農薬・化学肥料は使用していません

先週は日々の気温変化が激しい週でしたね。Tシャツ一枚でも暑くて。汗をかきかき仕事をしていた次の日はな・なんと前日より 10 度以上も気温が下がり、セーターが欲しくなるほどの気温でした。気温変化に体調も狂いがちの日々、体調管理には十分ご注意ください〜い♪

さて、本日お届けの小坂さん作「巨峰」も今シーズン最後となります。オーガニックマートよこいではなるべく「ホルモン処理」をしていないブドウをお届けしていますが、まあ〜皆さん聞いてください！ホルモン処理をしていない種ありブドウを探すのが大変！ブドウも色々な種類がありますが、巨峰以外で種ありぶどうはもう存在しないのでは…と感じています。一体全体だれが種ありブドウをなくしたのだ…責任者でてこ〜い！と叫びたくなります。

何をそんなに熱くなっているの…もう夏は終わったのよ…But エブリバディー、秋でも時と場合により熱くなるのですよ〜！さて皆さん、ここで質問です。種があつて当たり前のブドウをどのような処理をして種なしにするのでしょうか？そうです、今では当たり前 {当たり前田はドジャースのピッチャー} になりました「ホルモン処理」です。

ひとくちに「ホルモン処理」と軽く流していますが、秋ですがオーバーに言いますとホルモン処理で異常を起こすのです。本来できるべき種をホルモン調整して種ができなくするのです。皆さん、これ人に例えると少し空恐ろしいことになるのでは…?!これは正常な機能をわざわざホルモンバランスを崩し、異常な形にするということです。この技術というか措置は野菜だけに限らず動物にも使われていますが…オット今回は野菜編ですので、話がそれないように。

人もホルモンバランスが狂うと体調不良になります。ホルモンバランスはごく僅かな微妙な量で調整され、バランスが保たれ機能しています。もともとのバランスを崩してまで種なしにする必要があるのでしょうか…大きな疑問符です？

種が子供に詰まってしまう…という可能性から種があるブドウは避ける場合も多いようです。が、子供のころから種なしブドウを食べていると種なしブドウが当たり前の世界になります。しかし皆の衆、種なしブドウは当たり前のブドウではなく、ホルモン処理がされています！

10/24 お届け予定

休みです

10/30 お届け予定

プチエリンギ・ほうれん草・里芋・
人参・ごぼう・島バナナ又はみかん